



平成26年度群馬県がん患者団体連絡協議会 総会・交流茶話会 開催しました！

平成26年6月14日（土）午後1時から、群馬会館大広間において平成26年度群馬県がん患者団体連絡協議会総会が開催されました。

出席者は11団体の代表の方で、顧問の群馬大学公衆衛生学 小山教授もお忙しい中、出席いただきました。

大島会長から「当協議会は発足して7年が経過した。今後も充実した行事を行いたい。」とあいさつがあり、小山顧問から、「群馬県がん対策推進計画の策定にあたり（平成25年度から29年度までの5年間）、国からのトップダウンによるものであるが、いろいろな意見を聞き、群馬県のがん対策推進計画ができた。これからもこうした患者会等の集まりを大切にしてほしい。」とあいさつをいただきました。

平成25年度の事業報告、収支決算について、原案どおり承認されました。続けて、平成26年度の事業計画、収支予算についても承認されました。今年度の主な行事は、がん連協総会・交流茶話会（6月）、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014ぐんま（10月11日～12日の24時間）、がん征圧共同キャンペーン（10月）、がん連協作品展（11月）、群馬県がん患者ミーティング（平成27年1月～3月のいずれか）であり、それぞれの開催が決定しました。

昨年のリレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんまについて、狩野運営委員から、「昨年度は延べ5,500人の参加があり、これは全国でも3位の参加者人数であり、募金の額も全国で4位となりました。がん診療連携拠点病院、群馬県がん診療連携推進病院の参加など、医療関係者の参加が多く、学生のボランティアも300人と盛り上がりました。今年も協力し、県民運動として取り組んでいきたい。」と報告がありました。

また、がん患者ミーティングについて、昨年は人の集まりが少なかったことで、今年度は多くの人に参加できるよう工夫したいという意見がありました。具体的には、「話を聞いてみたい講師に講演を依頼する」、「ぜひ、新会員の方に登壇していただき体験談を発表してほしい」等の提案がありましたので、今年度の行事に活かしたいと思います。

そして、当協議会に新会員が入会しました。みゅら☆りっぴ（子宮がん・卵巣がん患者会）の方々です。総会には代表の三武さんと会員の方、三武さんのお嬢さんが参加され、とても和んだひと時となりました。

市民講座の後は、恒例の交流茶話会が行われました。出席者は、患者会、医療関係者、行政から85名が参加し、10テーブルにわかれ、約45分間お茶を飲みながら歓談しました。多少、時間が短くなってしまいましたので、次回はゆっくりできたら…と思いつつ会を終了しました。



茶話会会場

市民講座終了後、多くの関係者が集まりました。
初対面の人同士でも会話が弾みます。

今日は楽しかったです。
また、どこかでお会いできるといいですね。その時もゆっくりお話ししましょう。



新会員の紹介 みゅら☆りっぴ



新しい会員が当協議会に入会しました。 みゅら☆りっぴ の皆さんです。

認定NPO法人オレンジティ（女性特有のがん体験者をサポートするセルフヘルプグループ）の出張おしゃべりルームin群馬が、平成26年1月から名称変更し、子宮がん・卵巣がん患者会の「みゅら☆りっぴ」として群馬県独自の患者会になったそうです。

毎月第2日曜日の午後13:30~16:00 太田駅なか文化館にて、15人の定員でわかちあいの時間、交流の時間としての「おしゃべりルーム」（要予約）を開催しています。

婦人科がんの体験者、家族、医療従事者が対象で参加費はお茶代として500円です。

代表者は三武さんです。

当協議会・総会の際にはお嬢さんもお見えになり、リレー・フォー・ライフのルミナリエを色とりどりに飾っていただいた他、かわいいキャラクター「たまちゃん」も誕生しました♪

今後、さまざまながん連協の活動にも参加していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（事務局）



休憩時間などを使って、リレー・フォー・ライフのルミナリエを作成していただきました。

県立がんセンター 緩和ケア病棟開棟式・内覧会



去る平成26年5月31日（土）、群馬県立がんセンターにおいて建築整備を進めてきた「緩和ケア病棟」が完成し、6月の開棟に向けて開棟式と内覧会が開催されました。開棟式にはがん連協 大島会長と本田顧問が招待されました。

この緩和ケア病棟については、設計の段階からがん連協会員に「どのような環境、病棟が過ごしやすいか」という観点から問い合わせがあり、がんセンター事務局と意見交換を行いました。前橋にて、または太田のがんセンターにうかがって話を重ねたことが感慨深く思い出されます。

この度、完成した緩和ケア病棟は「貴方の尊厳を守り貴方らしく過ごせるよう、私たちは最善を尽くします。」という病棟理念のもと、県産木材を活用し、病床数25床（全室個室、うち有料個室8室）その他、談話室、家族室（和室、洋室）いたみ緩和センター、リハビリ室などがあります。

落ち着いた自然環境の中で木のぬくもりを感じられる病室です。内覧会には多くの県民の方が参加されたようです。



建物の外観

木のぬくもりが感じられる病棟内



・・・編集後記・・・

今年の4月からがん連協の事務局担当になりました荒木です。平成24年7月以来、またお世話になります。この2年近くの間リレー・フォー・ライフぐんまが開催され、各会でさまざまな新しい活動に取り組みされるなど群馬県におけるがん患者会の活動が活発になり頼もしく思っております。これからも活動を共にさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。（担当：荒木 美保）

【事務局】〒371-0005 群馬県前橋市堀之下町16-1

群馬県健康づくり財団 企画広報課内 ☎027-269-7403

※写真撮影は大島会長にお願いしました